

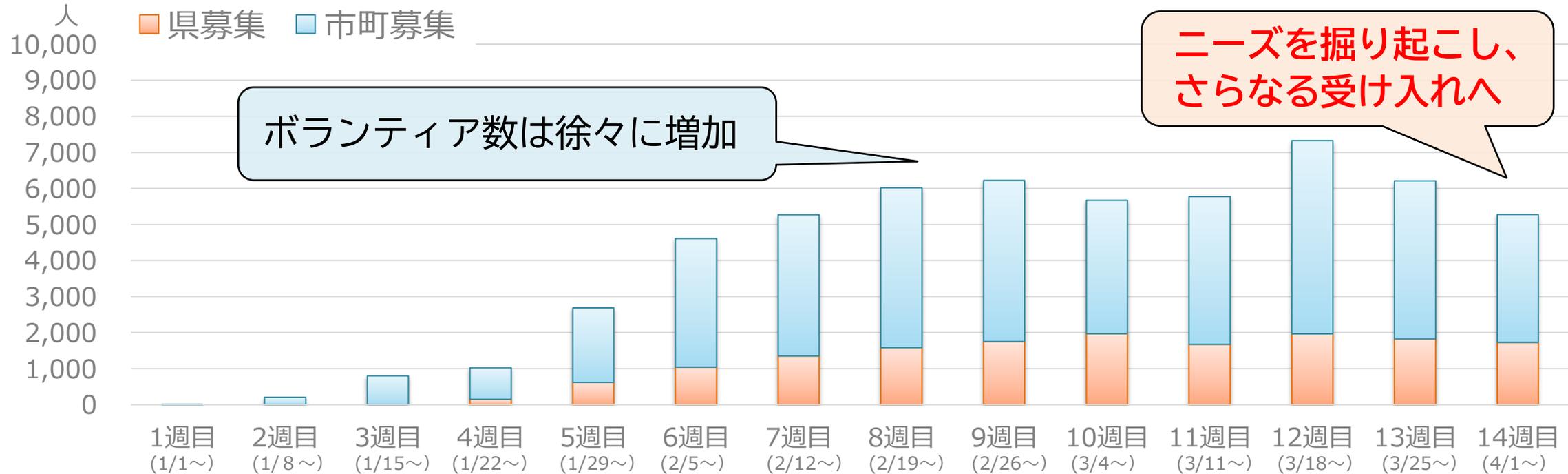
GW期間中の災害ボランティア活動①



災害ボランティア活動人数の推移

○ 県内外から多くの方がボランティアとして活動

延べ 66,278人 (県募集 20,606人 + 市町募集 45,672人) (4/16時点)



○ GW期間中のボランティア受入強化に向け、被災者からの潜在的なニーズの掘り起こしを支援

被災者からの潜在的なニーズの掘り起こしを支援

○ 珠洲市、輪島市への支援

戸別訪問によるニーズ把握等を支援するため、団体・企業に協力を依頼し、運営ボランティアを派遣

- ➔ 珠洲市（4/15～） 連合石川から22名／日を派遣
- 輪島市（4/25～） 全社協から派遣 8名→16名／日（増員）

○ 6市町への支援

・二次避難者へのチラシの配布

- ➔ GWなど一時帰宅に合わせた利用を促進するため、ホテル等の二次避難所でボランティアの申込先（市町災害ボランティアセンター）を記載したチラシを配布（4/13～）

・公費解体申請者へのチラシの配布

- ➔ 解体前に行う貴重品・家財の搬出などのボランティアの利用を促すため、各市町の公費解体窓口でボランティアの申込先（市町災害ボランティアセンター）を記載したチラシを配布（4/17～）



災害ボランティア参加促進に向けた取組

○ ボランティア希望者が、各自の事情に合わせて参加しやすいよう、利便性を向上

- ➔ 珠洲市 1泊2日型に加え日帰り型を追加 (4/22~)
- 穴水町 バスからマイカーでの現地集合に変更 (4/22~)



<県が事前登録者から募集するボランティア>

	これまでの活動先
1泊2日型 (穴水ベースキャンプ)	珠洲市、能登町
日帰り型 (バス)	七尾市、輪島市、穴水町、能登町
日帰り型 (マイカー)	志賀町



今後の活動先
珠洲市、能登町
七尾市、輪島市、 珠洲市(追加) 、能登町
志賀町、 穴水町(変更)

能登農林水産業ボランティア制度

○ 能登の基幹産業である農林水産業の再開に向け、簡単な農地等の復旧や農作業等をお手伝いいただくボランティアを実施

活動実績	活動場所 () 内は活動箇所数
203人	輪島市(4)、珠洲市(2)、能登町(4)、七尾市(3)、志賀町(2)、中能登町 (1) 計(16)

※原則、毎週水曜日に翌週分を募集
 ※当面、金沢発着・日帰りで実施
 ※活動実績は4/16時点



津波ゴミの撤去
(4/2能登町九里川尻)



水路の泥上げ
(4/3輪島市町野町)



育苗箱の運搬
(4/4七尾市中島)



カキの種付け
(4/7七尾市中島)

⇒ さらなるニーズの掘り起こしのため、**農林総合事務所職員を増員**することにより、**チラシ配布**や**個別訪問**を強化し、**農林漁業者やJA等の様々なニーズに対応**

GW期間中の災害ボランティア活動⑤

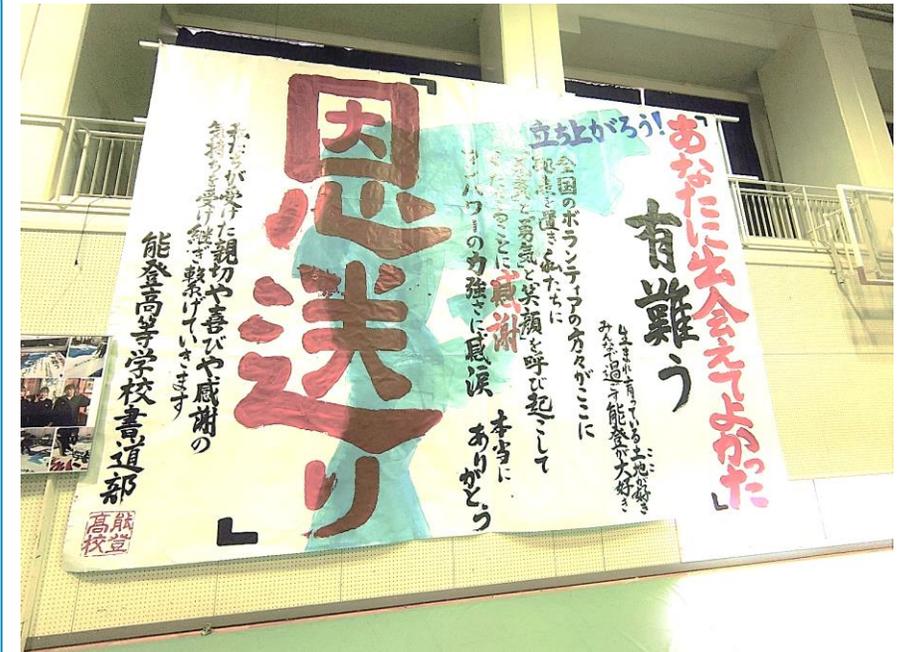


事前に県や市町に申し込みをしたうえで、
是非ともボランティアにご参加ください。

※ こまめな水分補給や早めの休憩などの熱中症対策にご注意ください。

被災者の皆さまへ

- 遠慮せずにボランティアへ作業を
お願いしてください
- 被災した家の片づけや荷物の運び出しなど、
お困りごとは各市町の災害ボランティア
センターにご相談を



能登高校書道部による感謝のメッセージ

(参考) 各市町の災害ボランティア募集状況



- 当初は被害が甚大で、各地のボランティアセンターの受入体制が整わない中、市町の負担軽減を図るため、県が一元的にサイトを開設し、事前登録・募集を一括で実施
- 現在は、各市町の体制が整い、道路状況も改善したため、各市町の要望を踏まえて県募集のボランティアを派遣することとし、各市町への支援を行っている

珠洲市	<ul style="list-style-type: none">・ 石川県民ボランティアセンター特設サイトに事前登録の上、特設サイトから応募・ 個人での受付はしていない (二次避難等により市外に避難している住民が多く、当日の飛び込みはマッチングが難しいため)
輪島市	<ul style="list-style-type: none">・ 市外の方は、石川県民ボランティアセンター特設サイトに事前登録の上、特設サイトから応募・ 輪島市民 (在勤・在学含む) は、市ボランティアセンターで直接募集
能登町	<ul style="list-style-type: none">・ 石川県民ボランティアセンター特設サイトに事前登録の上、特設サイトから応募
穴水町	<ul style="list-style-type: none">・ 町外の方は、石川県民ボランティアセンター特設サイトに事前登録の上、特設サイトから応募 (自家用車利用)・ 軽トラボラについては、町内在住で軽トラ持ち込みできる方が対象
七尾市	<ul style="list-style-type: none">・ 石川県民ボランティアセンター特設サイトに事前登録の上、特設サイトから応募・ 個人の受付はなし (別途、七尾市テントプロジェクトにおいて、全国から個人ボランティアも募集)・ トラックボランティア・運転ボランティアについては、市内在住者を対象に市ボランティアセンターで直接募集
志賀町	<ul style="list-style-type: none">・ 町内・近隣市町の方は、町専用フォームから直接応募・ 上記以外の方については、石川県民ボランティアセンター特設サイトに事前登録の上、特設サイトから応募 (自家用車利用)

北陸応援割「いしかわ応援旅行割」(第二弾)



1. 「いしかわ応援旅行割」(第一弾)の利用状況

- ・実施期間：令和6年3月16日(土)～4月26日(金)
- ・利用状況：23万人泊(4/16時点)

2. 「いしかわ応援旅行割」(第二弾)について

- ・実施期間：令和6年5月7日(火)～7月31日(水)
- ・予約開始：令和6年4月19日(金)
- ・割引内容：第一弾と同じ
- ・その他：2次避難者の受入に応じて予算を各施設に追加配分
- ・予約・申込先：いしかわ応援旅行割登録宿泊施設、登録旅行会社



登録宿泊施設401施設のうち
323施設が販売中！ 4/16時点

※ 予約可能な宿泊施設等については、公式ホームページをご確認ください
<https://www.hokuriku-ouenwari-ishikawa.com/>





台湾東部沖地震に対する災害見舞金等

令和6年4月3日（水）に台湾東部沖において発生した地震により、甚大な被害が発生している台湾に対して、災害見舞金を贈呈するとともに義援金を募集する。

災害見舞金

500万円

災害義援金の募集

4月18日（木）～ 当分の間

1 募金箱の設置

設置場所（6カ所）
県庁1階総合案内、小松県税事務所、中能登総合事務所、奥能登総合事務所、金沢城公園、兼六園

2 振込口座の開設

受取人口座名義	台湾東部沖地震災害義援金
振込先銀行名	北國銀行県庁支店
口座番号	普通預金 29701

- ・北國銀行各店の窓口、ATM、インターネットバンキングでの振込・振替は、手数料が免除されます。
- ・上記以外の金融機関からの振込・振替は手数料がかかりますのでご注意ください。

《参考》令和6年能登半島地震に対する台湾から本県への支援

・R6.1.18 見舞金 6千万円受領 ・R6.4.1 義援金 約25億円受領

義援金：女性活躍・県民協働課 076(225)1361

その他：空港企画課 076(225)1337

石川県成長戦略「ミライカイギ」の開催



目的及び委員

成長戦略を実行していくにあたり、石川県の次代を担う、県内各地域の様々な分野で、先進的な活動をされている方々のご意見を伺い、戦略の実効性を高める

委員数：17名 <性別> 男性10名、女性7名 <年代> 20～50代 <地域> 加賀5名、金沢7名、能登5名

【加賀】

おおつき まゆみ
大月 真由美
(NPO法人石川県防災士会副理事長)

かのう しんや
加納 慎也
(小松ウオール工業(株)代表取締役社長)

しんたき しょうこ
新滝 祥子
(株)ゆのくにの森取締役社長室長)

なかそう きょうこ
中惣 恭子
(一財)小原流南加賀支部長)

やすい よしなり
安井 善成
(有)安井ファーム代表取締役)

【金沢】

あおき けい
青木 恵 (座長)
(株)北國新聞社取締役広報室長)

こすぎ かよこ
小杉 佳世子
(西日本電信電話(株)北陸支店長)

しんぼ ゆうき
新保 雄希
(幼保連携型認定こども園泉の台幼稚舎園長)

たかた こうへい
高田 恒平
(株)金沢彩の庭ホテル代表)

なら そうきゆう
奈良 宗久
(茶道裏千家業躰)

はしもと ようこ
橋本 陽子
(北陸電力(株)石川支店営業部
営業担当主査プランナー)

もりたか やすこ
森高 靖子
(加賀建設(株)土木部課長)

【能登】

かずま かいちろう
数馬 嘉一郎
(数馬酒造(株)代表取締役)

ただ まゆみ
多田 真由美
(一社)春蘭の里代表理事)

でじま あきひろ
出島 彰宏
(珠洲市総合病院内科医長)

とうだ かずま
任田 和真
(株)能登風土マネージャー)

やまぐち むねひろ
山口 宗大
(株)どんたく代表取締役社長)

※地域別、五十音順、敬称略

今後の予定

- ・第1回会議を4月24日(水)に開催
- ・本年度内に数回開催予定
- ・能登半島地震を受け、K P Iを見直し

クマによる人身被害防止に向けた対策強化①



- ・昨年は、全国的に市街地に出没するクマが増加し、人身被害も過去最多（219人）
- ・県内でも、3年ぶりに人身被害が発生（5人）
⇒ 環境省は、4月16日にクマを「指定管理鳥獣」に追加

対策1 実際の住宅街で、地域住民も参加した、実践的な訓練を初実施

<訓練の概要>

実施日 3月15日

実施場所 白山市内の住宅街

参加者 県、白山市、猟友会、県警、地域住民（初）

内容 通報、住民への注意喚起、搜索、発見、捕獲
までの一連の流れを確認

参加者の声

- ・簡易無線を使用したことで、円滑に情報共有ができ、早期捕獲につながった
- ・出没時にとるべき対応について、具体的に認識できた など

（例：クマが侵入しそうな施設の戸締り、クマの餌となるようなゴミ等の片づけなど）



<訓練の様子>

参加者の気づき等を他の地域の訓練にも活用

クマによる人身被害防止に向けた対策強化②



対策2 クマ出没分析マップ（過去5年の出没情報を要因ごとに分類・マップ化）

⇒ 県民への注意喚起や市町のより一層の対策強化に役立てる

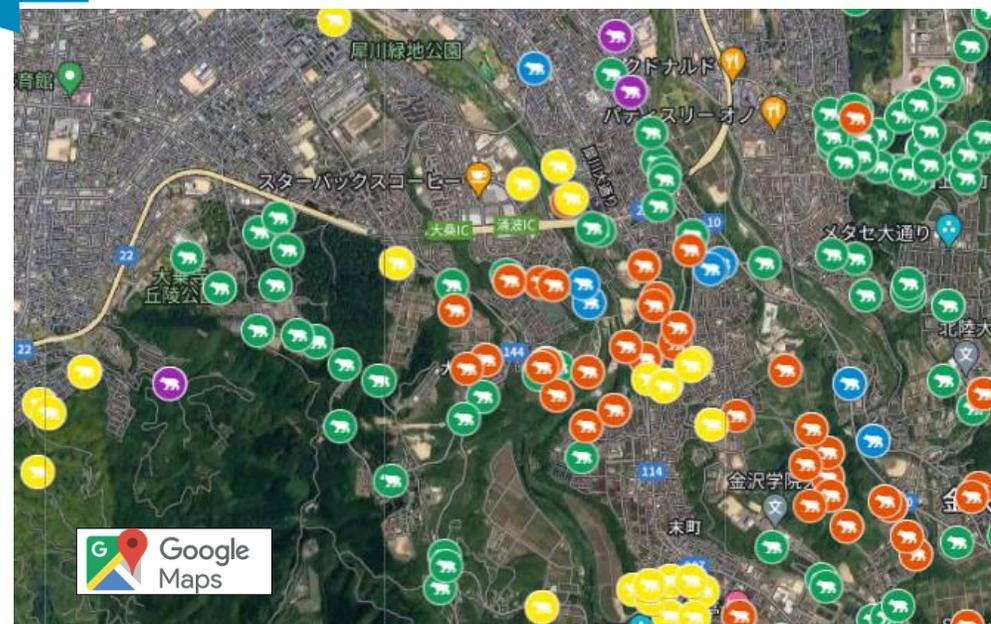
○ 出没した原因ごとの情報

4月18日県HP公開

-  森林からの出没 ⇒ 山際のヤブ刈り
-  河川を經由した出没 ⇒ 河川敷のヤブ刈り
-  誘引物が原因の出没 ⇒ カキやクリなどの誘引物の除去

○ 近年増加傾向の出没情報

-  春から夏にかけて親離れした若グマ
-  ブナなどのエサ不足による秋の大量出没



市町の協力を得て、広報誌や回覧板等により各地域に案内し、ヤブ狩りや誘引物の除去、出没を想定した実地訓練などの対策に活用